

田川市立学校校区再編基本方針(案)に対する意見の概要及び教育委員会の見解

※ 類似した意見は取りまとめています。

| No. | 市民等の意見(概要)   | 件数 | 教育委員会の見解  |
|-----|--|----|---|
| 1   | ・適正規模推進により人的配置・施設等、児童生徒に対する教育条件が充実するため、適正規模を推進してほしい。   | 1  | 適正規模を推進することで教育条件の充実を目指します。  |
| 2   | ・趣旨と背景について理解できた。将来自分の子どもが進学するときに喜んで通える学校になっていることを望む。   | 1  | 将来の子ども達が喜んで通うことができる学校の実現を目指します。   |
| 3   | ・中学校で専門の教員を配置できなくては、十分な指導を行っているとは言えない。<br>・小規模校では、教員の定数欠や1人教科となり教員の指導力低下につながる大きな問題であり、統合は喫緊の課題である。 | 6  | 学校規模適正化の検討の大きな要因であるため、教科欠をなくし、少なくとも授業時数の多い5教科(国語、社会、数学、理科、英語)は、複数教職員の配置ができるよう検討する予定です。  |
| 4   | ・3クラス以上での仲間づくりや、教科での複数の教員配置による学力向上の契機とすべきである。  | 2  | 学校規模適正化のみで学力向上が実現できるものではありませんが、その1つの大きな契機となるものとして取り組む予定です。  |
| 5   | ・生徒数の減少から、統廃合もやむなしと思うが、現状の規模を維持し、生徒数に対する教員を増やし、少人数によるメリットを生かす制度の抜本的な見直しが必要である。                     | 1  | 本市では、既に小中学校全学年(小学校1年生は国が措置)で少人数学級(1学級あたり35人以下)を実施しており、今後もこの少人数学級は継続を予定しています。<br>なお、教職員定数の改善は、関係機関を通じ、引き続き国に対し要望していくこととしています。                          |
| 6   | ・児童生徒の減少で教員配置に支障があることはわかるが、統合が進めば、通学距離が長くなること、他校の生徒と同じ学校になるなどの不安から、田川地区外へますます流出するのではないかと心配である。     | 2  | 通学距離が長くなることについては、交通事情を考慮のうえ、通学距離、時間の生徒の心身に与える影響などを十分検討し配慮します。<br>また、新たな人間関係づくりや学習環境の変化への対応が求められることから、戸惑わないよう生徒に対して指導が行き届くよう配慮します。                     |
| 7   | ・多様な目で子ども達の実態をとらえたり、可能性を見出すことは大切であるが、1学級あたりの児童生徒数増加で教職員の配慮が行き届かなくなる状況が生まれないようにすべきである。              | 1  | 今後、学校規模が変化しても1学級あたり35人以下の少人数学級の継続を予定しています。  |
| 8   | ・中学校規模と高校中退率の関係を調査し、猪位金校区でもクラス替えができる検討をしてほしい。  | 1  | 基本方針(案)P.10「2 中学校の校区再編(統廃合)計画 (2)猪位金小中一貫校について」において、「引き続き児童生徒の減少が予測されており、校区線引きなどについては校区再編基本計画策定の中で検討することとしています。中学校規模と高校中退率の関係については、今後調査し、参考とさせていただきます。 |

|    |  |    |   |
|----|--|----|---|
| 9  | <p>・猪位金校区はなぜ、校区再編統合から外されているのか。中学校給食をするなら、一貫校を増やしてもよいのではないか。</p>  | 1  | <p>田川市立学校適正規模審議会答申に基づき、これを受け教育委員会は、「猪位金小学校、中学校では平成22年度末までに、教育内容などのソフト面では十分に研究が進められていることから、研究成果をより効果的に生かす施設一体型への統合を検討」した結果、一貫校とすることとしたものです。<br/>なお、中学校給食については、これからの検討課題です。</p>         |
| 10 | <p>・適正規模校では、小規模校のように目が届きにくいのではないか。</p> <p>・「不登校傾向」の子が増えている。その子たちが、大きな不安を抱えないようにすることが大切である。</p>   | 4  | <p>適正規模校では、教員数が一定程度多いため、学校全体での組織的な指導体制を組みやすく、また、学年別・教科別の教員同士で学習指導・生徒指導等について相談・研究・協力等が行いやすくなると考えられ、これにより目を届かせることは可能であると考えられます。<br/>また、同様の理由により、「不登校傾向」の生徒に対しても配慮することが可能であると考えられます。</p> |
| 11 | <p>・学力の課題からすれば、多く的人数で学び合い、鍛え合いも期待されるが、思春期だからこそ少人数の中で、学校や家庭での支援をすることが有効ではないか。</p>   | 1  | <p>No. 10で示したように適正規模校では、学校全体での組織的な指導体制を組みやすく、また、学年別・教科別の教員同士で学習指導・生徒指導等について相談・研究・協力等が行いやすくなると考えられ、これによりきめ細かな指導、対応が可能となると考えられます。</p>   |
| 12 | <p>・再編で中学校教員数が充実することはとても良いが、新しい人間関係や地域の人達との関係づくりに不安もある。</p>  | 1  | <p>No. 10で示したように適正規模校では、学校全体での組織的な取り組みや対応が可能となり、また、相談・協力等が行いやすくなると考えられます。</p>   |
| 13 | <p>・小規模校のよさもあるが、適正規模でのメリットが分かった。再編は避けて通れない。</p> <p>・田川の子ども達にとって本当にメリットになるかを十分審議して最良の再編としてほしい。</p> <p>・学びや人間関係のあり方を考えると適正規模校のあり方の方が望ましい。色々な人や考えに触れることも社会人となる前段として大切である。</p> | 9  | <p>今後、具体的な再編計画策定の過程で、田川の子ども達にとってメリットとなるように検討していく予定です。</p>   |
| 14 | <p>・小学校から複数の中学校に分かれないようにしてほしい。通学する学校と校区活性化協議会の所属が整合していないところがある。</p>  | 1  | <p>今回の基本方針は、早急に対応が必要な中学校のみを対象とすることとしていますが、再編において不都合が生じないように配慮します。</p>   |
| 15 | <p>・今後、教員の大量退職もあり、若年化が進む。学校文化の望ましい継承のためには1人担任教科の解消は欠かせず、学力向上の視点からも重要である。</p>   | 1  | <p>適正規模校では、1校当たりの教職員が増えることから、少なくとも授業時数の多い5教科については複数教職員の配置が望ましいと考えており、1人担任教科の解消が進む予定です。</p>  |
| 16 | <p>・効果的で活力のある学校運営(生徒、教員の切磋琢磨や教科・部活動の指導充実など)のため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2校への再編がよい</li> <li>・3校への再編がよい</li> </ul>                                       | 13 | <p>学校数については、通学距離や通学路の安全性、将来的な小学校区の再編において不都合が生じないように配慮しながら、総合的に検討し、校区再編計画の中で示す予定です。</p>  |

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 17 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域の広がりですぐ自転車通学も考えられる。通学路整備、交通事情及び不審者対策を推進してほしい。</li> <li>・通学距離と安全性を考えるとスクールバスが必要と考える。</li> </ul> | 8 | 交通事情を考慮の上、通学距離、通学時間の児童生徒に与える影響、児童生徒の安全、学校の教育活動への影響などを勘案して、対策を検討する予定です。                          |
| 18 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口に対して小中学校17校は多すぎると思う。今後の統合はやむを得ないし、田川市の財政状況を考えれば、17校の維持は困難と思う。</li> </ul>                         | 1 | 長期的な視点に立ち、児童生徒にとって最良の教育条件を整備するため、全市域を対象に検討を行い整理したところです。   |
| 19 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3校になるなら、自由校区にした方がよいのではないかと。</li> </ul>   | 2 | 各校区では、現在、校区活性化協議会を中心として学校と地域の連携を強めながら、教育活動が行われています。自由校区にする場合には、どういう問題が発生するのかなど慎重な検討が必要であると考えます。 |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編計画は理解するが、校区住民への時間をかけた丁寧な説明が何より大切である。</li> </ul>  | 3 | 再編計画を策定する過程で、機会をとらえて校区説明会などを開催し、各校区の皆さんや保護者の皆さんの理解を得ていく必要があると考えます。                              |
| 21 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校数が減少するのであれば、各校で自校給食が実施されれば公平である。</li> </ul>   | 2 | 中学校給食については、これからの検討課題です。   |